

気になる電気料金…！どうなっているの？



コロナ禍からの経済回復、ロシアのウクライナ侵攻、世界的な物価高…。更に日本では円安が家計に厳しい！上がる電気料金が気になる…！仕組はどうなっているの？対策は？複雑になっている電気料金、内容について見てみましょう。

※金額等は、2023年4月1日中部電力ミライズ株式会社実施の従量電灯メニューを使用、10%税込みの額です。

電気料金の基本は、一般的に下記の式で計算されます。（従量電灯の場合）

$$\text{電気料金} = \text{基本料金} + \left[\begin{array}{ccc} \text{B} & \text{D} & \text{E} \\ \text{電力量料金} \pm \text{燃料費調整} & + & \text{再エネ発電促進} \\ \text{単価} & \text{単価} & \text{賦課金} \\ \text{円/kWh} & \text{円/kWh} & \text{円/kWh} \end{array} \right] \times \text{電気使用量} \\ \text{単価} \quad \text{単価} \quad \text{単価} \quad \text{単価} \quad \text{単価} \\ \text{〇〇A} \quad \text{円/kWh} \quad \text{円/kWh} \quad \text{円/kWh} \quad \text{〇〇〇kWh/月}$$

A：基本料金は、契約電流（アンペア数）によって決定されます。（円/月）

契約電流	10A	15A	20A	30A	40A	50A	60A
基本料金	297円	445.50円	594円	891円	1,188円	1,485円	1,782円

※契約電流は、使用時に流れる最大の電流値を予測計算して申込みます。

省マネー 最大値を小さくする工夫をし、**契約電流値を小さく**することです。

容量の大きい機器、電気釜、アイロン、ドライヤー、IHヒーター、オープン、電子レンジ、食洗機等の同時使用をできる限り避けて、平均的に使用しましょう！

B：電力量料金単価は、使用量料金を計算する単価です。（円/kWh）

最初の120kWhまで	120kWh～300kWh	300kWh超過
@21.33円	@25.80円	@28.75円

※電力の販売会社、契約種別（メニュー）によって異なります。

省マネー 電気を使用する**大きさ、時間帯等、ライフスタイル**に合わせたメニューが用意されています。

販売会社、料金メニューを**COOL CHOICE（賢い選択）**して下さい。

C：電気使用量は、1ヶ月間に使用した電気の量です。DおよびEの費用計算にも使用されます。

※1ヶ月間の使用量と、Bの単価をもって電力量料金として計算されます。

省エネ・省マネー 使用する各機器について、**省エネ、節電等、電気使用を工夫**することによって、**料金・CO₂の排出をともに減らす**ことができます。

D：燃料費調整制度は、発電に使用した燃料（原油、石炭、LNG等の貿易統計値）の変動する価格をより迅速に料金に反映させるため1996年にできた国の制度です。（円/kWh）

燃料費調整単価の推移（Cの使用量に単価をかけて計算されます。）低圧契約の場合

2021年1月	2022年1月	2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
-6.22	-1.79	+12.30	+5.51	+4.28	+2.93	+1.95	+0.60	-0.94

※2023年2～9月分は、国による激変緩和措置により値引き（単価7.0円/kWh）されています。

E：再生可能エネルギー発電促進賦課金は、2012年7月、再エネの導入拡大を図るために固定価格買取制度（FIT法）が始まりました。発電した電気を国の定める単価で電力会社が買い取り。

その費用を賦課金として、**全ての企業・家庭が使用量に応じて負担**する制度です。（円/kWh）

再生可能エネルギー発電促進賦課金の推移（Cの電気使用量に単価をかけて計算されます。）

2020年	2021年	2022年	2023年
2.95	3.36	3.45	1.40

【文責】 壬生善夫